

関係府省への協力要請について

2019年4月26日

総務省

＜公的機関へのクラウド型翻訳システムの本格導入に向けてさらにクリアすべき課題＞

課題① 適切なプライバシー・セキュリティの確保

- ・行政機関の窓口業務等において必要と想定される「プライバシー保護」、「セキュリティ」の確保(クラウドが満たすべき技術的保護要件等の整理)

課題② クラウド導入についての検討

- ・政府情報システムにおける「クラウド・バイ・デフォルト」の原則に沿った導入検討(個別府省毎に実施すると負担大)

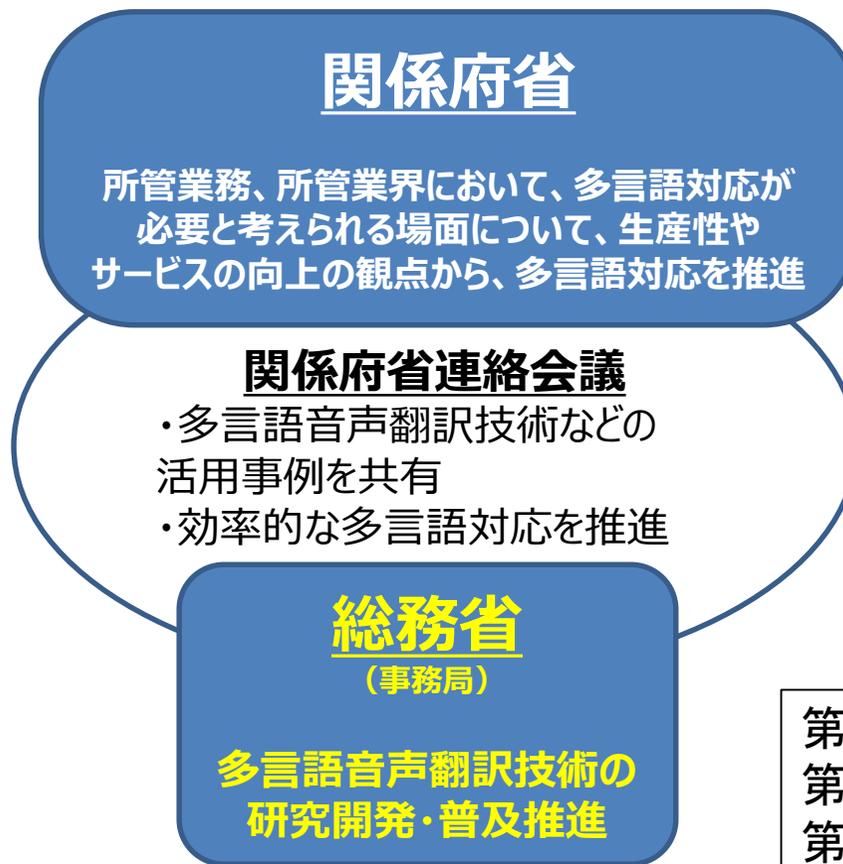


上記の課題を踏まえ、以下について各府省に協力を要請
(第4回言語バリアフリー関係府省連絡会議(4月26日開催)にて佐藤総務副大臣より要請)

- **各府省のご協力の下、外国人対応業務を洗い出し、自動翻訳システムに入力されうる情報の整理・類型化を行う。**
- 総務省は、上記の類型化を踏まえ、公的機関向けクラウド型翻訳システムが具備すべき技術的保護要件等を整理する。
- 公的機関へのクラウド型翻訳システムの導入に向けて、自動翻訳利活用府省により、**府省横断的な「クラウド・バイ・デフォルト」の原則に沿った検討を実施する。**

【参考】言語バリアフリー関係府省連絡会議(事務局:総務省)

- 翻訳アプリなどの情報通信技術を活用して「言葉の壁」のないインクルーシブな社会を実現するため、「**言語バリアフリー関係府省連絡会議**」を昨年4月に発足。
- 各府省のベストプラクティスの共有や所管業界への普及啓発の推進等により、政府全体で効率的で質の高い対応を推進。



第1回会合	2018年4月開催
第2回会合	2018年9月開催
第3回会合	2019年1月開催
第4回会合	2019年4月開催

【参考】言語バリアフリー関係府省連絡会議(構成員名簿)

内閣官房	玉田 康人	情報通信技術(IT)総合戦略室次長
	藤本 康二	健康・医療戦略室次長
	高橋 一郎	東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会 推進本部事務局企画・推進統括官
内閣府	黒田 亮	大臣官房審議官(科学技術・イノベーション担当)
警察庁	田中 俊恵	長官官房審議官(国際担当)
消防庁	菅原 泰治	審議官
法務省	大橋 哲	大臣官房審議官
出入国在留管理庁	佐藤 淳	審議官(総合調整担当)
財務省	山名 規雄	大臣官房審議官
文部科学省	菱山 豊	サイバーセキュリティ・政策立案総括審議官
厚生労働省	迫井 正深	大臣官房審議官 (医政、医薬品等産業振興、精神保健医療、災害対策担当)
	諏訪園 健司	大臣官房審議官(老健、障害保健福祉担当)
農林水産省	青山 豊久	農林水産技術会議事務局研究総務官
経済産業省	島田 勘資	大臣官房審議官(商務・サービス担当)
国土交通省	山上 範芳	総合政策局次長
観光庁	平岡 成哲	観光地域振興部長
環境省	鳥居 敏男	大臣官房審議官(自然環境局等担当)

【オブザーバ】 国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)

【とりまとめ】 総務省